

# みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

## 3月市議会定例会報告

平成28年第1回市議会定例会は、2月22日から3月15日までの23日間の会期で開かれました。本定例会では、平成28年度高崎市一般会計、9特別会計、上・下水道事業会計の各予算、包括外部監査契約の締結について、高崎市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について、高崎市八幡霊園条例の一部改正についてなどの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

3月定例会は新年度予算を議決する重要な議会で、市長の施政方針や財務部長の提案説明を受けた後、会派の代表者による総括質疑を行い、市長が答弁しました。また、各分野の事業内容については、4つの常任委員会と都市集客施設建設調査特別委員会において詳細に審議が行われました。

## 《平成28年度予算関係報告》

一般会計予算は、前年度比2.4%増の1,628億4,000万円（前年度比37億8,000万円の増）、特別会計、企業会計を合算した総予算額は、2,689億6,978万3千円で、前年度比1.9%の増となりました。

『徹底した事業費の削減』、『重点事業の積極的な推進』、『人件費の圧縮』の3つを引き続き基本方針の柱とし、限られた財源をいかに効率よく効果のある事業に配分するかといった視点で、主だったもので120項目の経費削減、10人の職員圧縮を行い、「新しい高崎」の理念と基本政策の実現に向けた具体的な施策を展開していくための予算編成に取り組んだと言えるでしょう。

### 28年度予算の 主要（新規）事業

- ★ 新体育館シャトルバス運行事業（地域交通課） 81,268千円
- ★ 子育てなんでもセンター（仮称）整備事業（こども家庭課） 125,212千円
- ★ 脳卒中患者受入体制強化事業（保険医療総務課） 70,000千円
- ★ 中央銀座アーケード街再整備事業（商工振興課） 265,000千円
- ★ 英語教育指導事業（学校教育課） 254,569千円



## 三月定例会

## 市政に対する総括質疑

平成二十八年度予算や市長の施政方針などに対し、各会派の代表者による総括質疑が行われました。高橋みなおは、「市民クラブ」を代表して登壇しました。以下、概要を報告します。

「新しい高崎」の基本政策と  
平成二十八年度予算について  
57つの政策分野から

**質問** 市長就任以来「新しい高崎」の理念と基本政策の実現に向けた施策が展開され、事業の選択と集中に基づき、六十二項目が重点事業等に選定された。過去最大の規模となった予算編成の最大効果と本市らしい特色についてどのように考えるか。

また、積極的な施策展開を評価する一方で財政運営を心配する声も聞こえ、中長期的な展望を示す時期と考えるが市長の見解は。

**答弁** 公平・適正といった観点から削減を行い、福祉や教育、子育て支援などを充実させる市政運営により取り組んだ予算と考える。将来世代への負担軽減に向け、引き続き健全な財政運営に努めたい。

**質問** 本市の教育行政においては、地域社会と一体となり子どもたちを守り、育てる環境

整備に取り組んでいると認識している。新年度は英語教育のレベルアップを掲げているがどのように考えているのか。また、放課後児童クラブの課題に対して、大規模校の現実を把握する中で見解を伺いたい。

**答弁** 小学校高学年では、読む・書く力、中学では意見や考えを伝え合える生徒を育成したい。放課後児童クラブは、指導員の確保や施設の拡張等、児童が安心して生活できる環境整備に努めていく。

**質問** 産業の振興における経済活性化について、二十七年度の成果とこれからのシティプロモーション事業をどのように充実させていくのか。さらに、若い世代の正規雇用の推進が少子化対策や人口増加に有効と認識しているがどのように考えるか。

**答弁** 市内業者の経営の安定や雇用拡大につながる施策を最優先とし、ビジネス誘致を推進した。本市のイメージアップを図り、魅力を国内外に情報発信する戦略を策定したい。地域経済の発展のためにも若年層の正規雇用の推進を市内企業に働きかけたい。

**質問** 本市には全国的価値のある遺跡が存在するが、東国文化をどのように発信していくのか。また、音楽センターの活用についての見解は。

**答弁** 遺跡間のネットワーク化や観光資源化をハード・ソフトの両面から検討したい。

音楽センターは市民の愛着深い施設であり、大切に活用していきたいと考える。

**質問** 福祉分野の施策は手厚いものと評価したい。高齢者安心センターの成果と、多機能型住宅内の子育てなんでもセンターの役割は。

**答弁** 「待つ福祉から出向く福祉」を合言葉に二十四時間の受付体制を整備し、相談件数も増加している。現在中心市街地に長寿センター的な施設がないため、高齢者と子育て世代が交流する拠点となるよう期待している。

**質問** 合併地域における、より効率的で政策提言ができる組織の検討はしているのか。

**答弁** 地域の生の声を集約し、身近な課題を解決するため各支所地域に協議会を設置し、まちづくりに関する意見交換などを行う。

**質問** 交通安全と防犯対策については、地域との合意や要望対応が重要であるが、どのように考えるか。

**答弁** 「小学校周辺道路交通安全対策事業」を地域の理解と協力のもと進めたい。防犯カメラ等の設置事業にも柔軟に対応したい。

**質問** 予算の上でも重点となる「大勢の人が歩き、賑わう街」について、魅力ある高崎のまちづくりへの市長の意気込みを伺いたい。

**答弁** 高崎駅周辺整備や混雑時の交通対策、駐車場整備などに引き続き取り組み、活気あふれるまちづくりを目指したい。